

教科(科目)	地理歴史（地理総合）	単位数	2単位	学年(コース)	2学年（普通科）
使用教科書	帝国書院『高等学校新地理総合』、帝国書院『新詳高等地図』				
副教材等	啓隆社『地理総合演習ノート』				

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	<p>卒業までに次の資質・能力を育成する。</p> <p>①「深慮にして実践」「誠実にして勉勵」「和親にして敬愛」の教育目標の下、物事に主体的に取り組む姿勢を育成する。</p> <p>②自身の健康を保ちつつ、社会的な自立を目指し、多様性を尊重しながら他者と協働して取り組む力を育成する。</p> <p>③教科横断的な視点を持ち、様々な学習活動をとおして、創造力、行動力、コミュニケーション能力を育成する。</p>
カリキュラム・ポリシー	<p>資質・能力を育成するために、次のような教育活動を行う。</p> <p>①生徒一人ひとりの目標や進路希望が実現できる教育課程を編成し、教育活動を展開する。</p> <p>②3年後の進路を見据えた学力の定着と活用に向け、ICT機器を活用するなどして、主体的・対話的で深い学びと探究的な学習を行う。</p> <p>③自己の在り方生き方を探究するため、「総合的な探究の時間」を主軸に、課題発見・解決、自己表現の育成に取り組む。</p> <p>④様々な状況や環境に対応し自己の力を向上させるため、ボランティア活動やインターンシップ、外部検定試験など、生徒が自ら挑戦できる機会となる情報を積極的に提供する。</p> <p>⑤学校行事や部活動などの生徒の主体的な活動の支援に向け、安全・安心な教育環境に努める。</p>

2 学習目標

社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の優位な形成者に必要な公民としての資質・能力を次の通り育成することを目指す。

- 地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- 地理に関わる諸事象等の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力を育成する。
- 地理に関する諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題に対して主体的に追究、解決しようとする態度を育てる。また、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

3 指導の重点

- ・私たちが違う自然環境に住む人々の生活を知る。
- ・異なる文化を持つ人々が色々な物の考え方をしていることを知る。
- ・世界全体の急速な変化に対して、どのような問題があり、どのように解決すべきなのかを考える。

4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
知識：地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的問題への取組などを理解する。 技能：地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論することができる。	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にここで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深めようとしている。

5 評価方法

評価方法	各観点における評価方法は次のとおりです。		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	以上の観点を踏まえ、 ・定期考査 ・小テスト ・課題の取り組み などから評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・定期考査 ・小テスト ・グループ協議、発表 などから評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・課題の取り組み ・授業ノート ・グループ協議、発表 ・授業態度 などから、評価します。
内容のまとまりごとに、各観点「A：十分満足できる」、「B：おおむね満足できる」、「C：努力を要する」で評価します。 内容のまとまりごとの評価規準は授業で説明します。			

6 学習計画

月	単元名	授業時数	教材名	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4 5	第1部 地図でとらえる現代世界 第1章 地理と地理情報システム 1節 地球上の位置と時差 2節 地図の役割と種類 第2章 結び付きを深める現代世界 1節 現代世界の国家と領域 2節 グローバル化する世界	7	教科書 地図帳 プリント	日常生活の中でみられるさまざまな地図の 読図などを基に、地図や地理情報システム の役割や有用性などについて理解する。また、 現代世界のさまざまな地理情報について、 地図や地理情報システムなどを用いて、 その情報を収集し、読み取り、まとめる基礎 的・基本的な技能を身に付ける。	7	授業への参加態度 グループ協議、発表 授業ノート 小テスト 課題の取り組み
5	定期考査	1	考査		1	定期考査
5 6	第2部 国際理解と国際協力 第1章 生活文化の多様性と国際 理解 1節 世界の地形と人々の生活 2節 世界の気候と人々の生活	7	教科書 地図帳 プリント	世界の人々の特色ある生活文化を基に、 人々の生活文化が地理的環境から影響を受 けたり、影響を与えたりして多様性をもつ ことや、地理的環境の変化によって変容す ることなどについて理解する。世界の人々 の生活文化について、その生活文化が見ら れる場所の特徴や自然及び社会的条件との 関わりなどに着目して、主題を設定し、多様 性や変容の要因などを多面的・多角的に考 察し、表現する。	7	授業への参加態度 グループ協議、発表 授業ノート 小テスト 課題の取り組み
6	定期考査	1	考査		1	定期考査

7 8 9	3節 世界の言語・宗教と人々の生活 4節 歴史的背景と人々の生活	1 8	教科書 地図帳 プリント	世界の人々の特色ある生活文化を基に、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解する。生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	1 8	授業への参加態度 グループ協議、発表 授業ノート 小テスト 課題の取り組み
9	定期考査	1	考査		1	定期考査
10 11	5節 世界の産業と人々の生活 第2章 地球の課題と国際協力 1節 複雑に絡み合う地球の課題 2節 地球環境問題 3節 資源・エネルギー問題 4節 人口問題	1 1	教科書 地図帳 プリント	世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取り組みや国際協力が必要であることなどについて理解する。世界各地で見られる地球的課題について、地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現する。	1 1	授業への参加態度 グループ協議、発表 授業ノート 小テスト 課題の取り組み
12	定期考査	1	考査		1	定期考査
12 1 2	5節 食料問題 6節 都市・居住問題 第3部 持続可能な地域づくりと私たち 第1章 自然環境と防災 1節 日本の自然環境 2節 地震・津波と防災 3節 火山災害と防災 4節 気象災害と防災	1 7	教科書 地図帳 プリント	さまざまな自然災害に対応したハザードマップや新旧地形図をはじめとする各種の地理情報について、その情報を収集し、読み取り、まとめる地理的スキルを身に付ける。地域性を踏まえた防災について、自然及び社会的条件との関わり、地域の共通点や差異、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し、表現する。自然環境と防災について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	1 7	授業への参加態度 グループ協議、発表 授業ノート 小テスト 課題の取り組み
2	定期考査	1	考査		1	定期考査
2 3	5節 自然災害への備え 第2章 生活圏の調査と地域の展望 1節 生活圏の調査と地域の展望	5	教科書 地図帳 プリント	生活圏の調査を基に、地理的な課題の解決に向けた取り組みや探究する手法などについて理解する。生活圏の地理的な課題について、生活圏内や生活圏外との結び付き、地域の成り立ちや変容、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、課題解決に求められる取り組みなどを多面的・多角的に考察、構想し、表現する。	5	授業への参加態度 グループ協議、発表 授業ノート 小テスト 課題の取り組み

70時間 (50分授業)

7 課題・提出物等

- ・ 考査範囲や課題についてはGoogle Classroomで連絡を配信します。よく確認するようにしてください。
- ・ 学期ごとに授業ノートを回収して、評価します。

8 担当者からの一言

- ・ 提出物の提出期限を守ること。
- ・ 地理への関心を深め、自ら進んで地図帳等を使いましょう。
- ・ 自然現象や地形の成因が何によるものなのかを理解しましょう。